

「池田・貞光・脇・藍住」都市計画区域マスタープラン変更（案）の概要

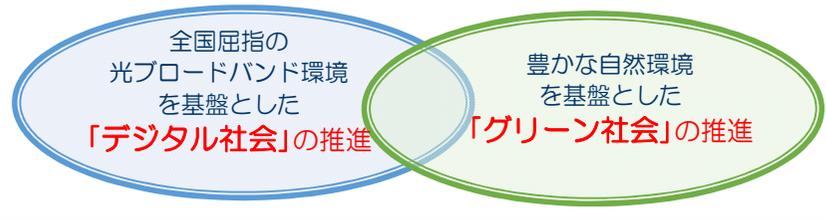
令和4年2月定例会（事前）
県土整備委員会資料（その2）
県土整備部

◆課題・見直しの方向性

「3つの国難」～刻々と変化する社会情勢への対応～

新型コロナ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新たな生活様式（ニューノーマル）への対応 ▶ 働き方や暮らし方など多様化するニーズへの対応
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本格的な人口減少・超高齢化問題への対応 ▶ 増加する空き家・空き地等の低未利用地への対応
災害列島	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模地震や頻発・激甚化する豪雨災害への備え ▶ 深刻化する地球環境問題への対応

課題解決に向けた新たな視点



都市づくりの方向性

■ニューノーマル時代に対応する新次元の分散型国土の創出

- ▶ 「デジタル技術・データ」の活用によるスマートシティの推進
- ▶ 「地方回帰の流れ」を捉え、「ニューノーマル」に対応した「サテライトオフィス」の誘致や「ワーケーション」の推進

■防災・減災を主流化したコンパクトシティの実現

- ▶ 「コンパクトなまちづくり」と「交通・情報ネットワーク」との連携による効率的な都市形成の推進
- ▶ 大規模自然災害に備えた「防災・減災対策」の推進や発災後の迅速かつ円滑な都市の再生を実現する「事前復興」の推進
- ▶ 災害ハザードエリアにおける開発抑制

■気候変動対策の推進による脱炭素社会の実現

- ▶ 「公共交通機関の利用促進」によるカーボンニュートラルの推進
- ▶ 「グリーンインフラ機能」を有する農地・緑地等の保全・活用
- ▶ 「自然・水素エネルギー」の導入促進



都市計画区域 位置図



地域特性に応じた土地利用の方針

■土地利用の方針

【池田・貞光・脇】

- ▶ 歴史的・文化的な価値を有する町並みの保全・活用や自然と調和した都市景観形成の推進
- ▶ 空き地、空き家等の低未利用地の利活用による定住・移住の促進

【藍住】

- ▶ 町役場周辺における文化・交流拠点機能の充実や、幹線道路沿線における商業活動の促進
- ▶ 農地と調和した良好な居住環境の形成

■区域区分【共通】

- ▶ 引き続き、「区域区分（線引き）」は定めない